

古民家 2 「麗らかな古民家 日和」



小川の傍にまるで、おとぎ話のような雰囲気で行む古民家。
もし、私が子供の頃にこの古民家を見つけていたらまさに「秘密の場所」
ちょっと近寄りたがたい佇まいだけど気になって仕方が無い不思議な場所。
静かな自然に囲まれたこの土地で、この古民家は何を見て、何を聞いて過ごしてきたのでしょうか。

春には梅の木を眺め、鶯の囀り、小川のせせらぎに耳を傾ける。そんな空想の物語をこの古民家でお茶を飲みながら思い更けるのも素敵では無いでしょうか。
古民家の魅力は移築し、再生し、モダンに綺麗に仕上げた後でもそういった歴史を感じられるという部分です。

新しい家主さんに引き継がれてもその古民家の記憶は引き継がれます。
そして新しい土地で、また物語を紡いでいくのです。

何年経っても、何十年経っても古民家は古民家、昨日今日建てた建物の「古さ」ではなく「歴史」が詰まっているのだと思います。
これから先の未来、山奥ではなく、たくさんの人を笑顔にしてあげられる場所で生きて行ってもらいたい所存です。
是非お問い合わせください。



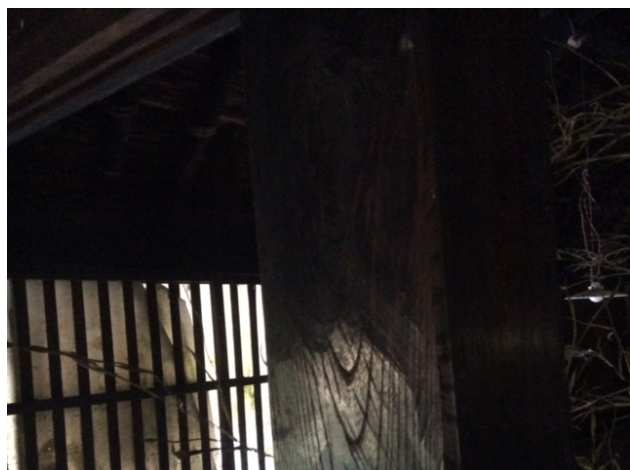
「古民家 2」 その他写真



山奥でゆったりと自然に囲まれ、古民家として十分に熟成された重厚感溢れる古民家。このサイズ感ならどんなご期待にもお応えできます。



手を加え、再生した姿をご想像ください。人の笑顔が溢れる軒下、行き交う人々、この古民家でまた楽しい人の声が響く事を期待しています。



北陸の古民家ならではの太い柱、暖かい土地の古民家とは違い全てが頑丈な作りです。それこそが「古民家なら北陸」と言われる所以です。



移築したあとを想像してみてください。窓の外、どんな景色が見えるでしょうか。窓際のこの場所は、きっとたくさんの人に愛される場所となるでしょう。

